

鈴鹿サーキット改修計画のご案内

2008. 3. 1

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット



ご挨拶

はじめに、1962年9月の鈴鹿サーキット誕生以来、ご来場いただきました多くのお客様、また長年にわたりご支援を賜りました関係各位、各社様に心より感謝申し上げます。

これまで数々の世界的イベントを開催するとともに、観戦いただく皆様・参加者の皆様、関係者各位を含めた全てのお客様の安全性・快適性・利便性向上のため絶え間ない改修を実施してまいりました。

このたび、鈴鹿サーキットを訪れる全てのお客様にこれからもご満足いただくため、永年のテーマとして取り組んでおります安全性・快適性・利便性の向上と、環境に配慮し、世界有数のサーキットとして新しい時代にふさわしいレーシングコースを目指して改修を行います。

今回の改修では、工事期間が長期にわたりますが、レーシングコースをご利用いただく皆様、支えていただくスポンサー各社様はじめ、地元・鈴鹿市並びに地域の皆様のご協力をいただき実施できますことを、あらためて感謝申し上げます。

より高い利便性と安全性の向上に向けたパドック、ピットの全面改修と観客エリアの快適な観戦環境作りを主とした今回の改修は、昨年の秋から2008年5月にかけてパドック改修の準備工事を、2008年9月から2009年3月末にかけて新ピットビルディング建設、観戦エリア整備などの工事を実施。2009年モータースポーツシーズン開幕から皆様に新施設でエキサイティングなレース、イベントをご提供できる予定です。ぜひご期待ください。

株式会社モビリティランド 取締役社長

土橋 哲

改修について

『全てのお客様の安全性・快適性・利便性を向上し、これからもご満足いただき、ご支持いただける鈴鹿サーキットを目指して』

鈴鹿サーキットでは1962年9月のオープン以来、テクニカルセクションから高速セクションまでを併せ持つ、変化に富んだコースレイアウトが世界から高い評価をいただくとともに、F1、8耐、MotoGPなど、4輪、2輪の世界最高峰レースを開催してまいりました。また、コースの安全性向上を目的に幾度となく改修を行ってきました。2009年には再びF1日本グランプリの開催を決定したことも踏まえて、「伝統あるファンタスティックなコース形状を活かしながらも、見る人・走る人・運営する人にとって、安心・安全でワクワクする世界有数のサーキット」をコンセプトに、

鈴鹿サーキットにご来場いただく全てのお客様

観戦いただく皆様

参加いただく皆様

スポンサー(ご協賛)の皆様

運営(オフィシャル)に関わる皆様

メディアの皆様

ご出店いただく皆様

の安全性・快適性・利便性向上のため、様々な視点から検討を重ね改修を実施いたします。

■工事期間

2007年11月～2008年5月

パドック改修(山田池の埋立て)と準備工事

2008年9月～2009年3月末

新ピットビルディング建設、ご観戦エリア整備他本格工事

今回の改修で観戦エリアの快適性を向上すべくグランドスタンドに大屋根を設置。お客様が行き交い、買い物やイベントをお楽しみいただくグランプリスクエアも拡大し、行動範囲を広げてお楽しみいただける快適な観戦エリアを造ってまいります。

レース参加者・関係者の皆様には施設の利便性を向上させ、より使いやすく快適な環境を提供すると共に、ご観戦いただくお客様には新しくなった設備で繰り広げられる最高のレース、イベントをお楽しみいただけるように、全てのお客様に共に喜んでいただくことのできるレース・イベントを開催したいと考えます。

改修工事項目につきましては、今回のご案内以外にも、よりエキサイティングな観戦ポイントの新設や、快適にご観戦いただける計画も検討しております。決定次第ご案内いたしますので是非ご期待ください。

2009年末からは西コースエリアも、コースの安全性向上ならびに快適性向上のための観戦エリア改修を予定しております。これからも絶え間ない改修により、進化する鈴鹿サーキットにご期待ください。

改修概要

3

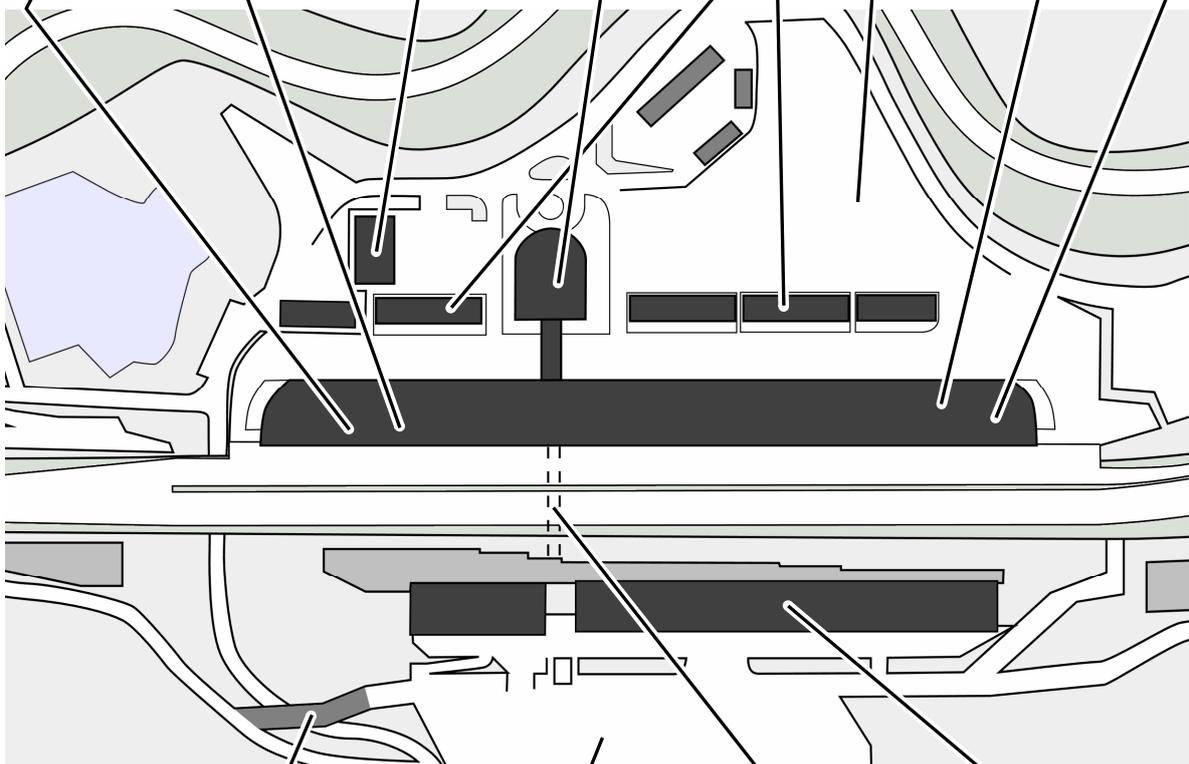
レーシングコースエリア

- ①東コースランオフエリア拡幅
- ②主要コーナーにサービスロード新設

2

パドック・ピットエリア

- ①ピットビル新設
- ②SMSCオフィス新設
- ③チームオフィス新設
- ④メディアセンター新設
- ⑤ピットビル2F、3Fにホスピタリティエリア設置
- ⑥センターハウス新設
- ⑦パドック拡張
- ⑧メディアセンター設置
- ⑨コントロールタワー新設
- ⑩メディカルセンター新設



- ①グランプリスクエア↔第1コーナー歩行者専用の通路新設
- ②グランプリスクエア拡張
- ③パドックトンネル新設
- ④グランドスタンド改修
- ⑤各観戦エリアの環境・快適性向上
- ⑥駐車場増設

1

観戦・イベントエリア

※2009年末からは西コースエリアの改修工事を予定しております。

完成予想図

S字コーナーよりグランドスタンド方面を望む



ゆうえんちモトピアからピット方面を望む



※全てのイラストはイメージであり、変更される場合があります。

改修計画① 観戦・イベントエリアの快適性向上

① グランドスタンド改修

グランドスタンドには大屋根を設置するとともに、これまでのベンチシート部分を廃止し、全席個別シートにします。現状のA席、S1席、S2席エリアを見直し、新たにV席を約5,900席増設。グランドスタンド合計で1,900席増え、12,830席となります。また車椅子席を増設(全59席)します。グランドスタンド上段には個室タイプの観覧室を35室(各10㎡)設置、放送ブースとしても利用できます。さらにはグランドスタンドには充実した飲食エリアを配置、大型ビジョンを1基増設(計3基に)し、快適な観戦環境を提供します。



最終コーナーより見たグランドスタンド(左)とピットビル(右)

② パドックトンネル新設

グランドスタンドからパドックへ通じるトンネルを新設し、通路幅も4mに拡幅、安全にゆったりと通行いただけます。またエレベーター、エスカレーターを設置し、車椅子の方やベビーカーも快適な移動が可能となります。

③ グランプリスクエア拡張

グランドスタンド手前のイベントスペース「グランプリスクエア」を大きく拡張します。広大なフラットスペースを活かした自由なレイアウトが可能で、より快適にイベントをお楽しみいただけます。レース時のイベントブースだけでなく各種見本市など大型展示型催事、団体様のスペース活用など多様なニーズにお応えできます。

④ グランプリスクエア⇄第1コーナー 歩行者専用の通路新設

グランドスタンド手前のグランプリスクエアから第1コーナー方面に通じる車と人が交差する横断歩道に代えて歩行者専用の橋を新設。歩車分離により、お客様のより安全・快適な通行が可能となります。

⑤ 各観戦エリアの環境・快適性向上

常設の軽食ショップを充実させるとともに、トイレはユニバーサルデザインとし、ベビーカーのまま入れるベビーベッド常備の多目的トイレを設置します。女性トイレにはパウダーコーナーを新設します。また喫煙所を設け、分煙化の強化に取り組みます。

⑥ 駐車場増設

より多くのお客様に快適にご来場していただくために、正面駐車場エリアを改修し、約1,000台分の駐車スペースを増設します。

改修計画② パドック・ピットエリアの利便性・快適性向上

①ピットビル新設

開放感、清潔感あふれ、機能美を追求した地上3階建のピットビルを新設。従来より約100m長くなり、48のピットボックスは各々約86㎡から約109㎡に拡大するとともに、間仕切りを可動させることでF1レースにも対応可能(437㎡)な12のピットボックスとします。ピットとパドック路面との段差を解消し、車両搬入の利便性を向上させます。ピットインフラを整備し、サインエリアとピットガレージ、チームオフィス間でLAN環境を構築。ピットには個室(40㎡)を12室設置。パドック2箇所にはシャワールームを完備します。またより多くのパートナー企業様のプロモーション活動にお役立ていただけるよう、広告スペースを設けます。



グランドスタンド方面より見たピットビル

②コントロールタワー新設

レースを指揮・管理するコントロールタワーを新設。現状の約2倍の広さに拡大し、参加者の皆様にゆったりと使用いただけるブリーフィングルームを設置します。コントロールルームを現状の3階から2階に移し、競技役員と参加者のコミュニケーションを容易にするとともに、監視カメラ・モニター等の最新AV設備を集中管理。安全・確実なレース運営が行える環境とします。

③メディカルセンター新設

現状第1コーナー手前にあるメディカルセンターをピットビル最終コーナー側に設置。最新の設備を装備するとともに、救急ヘリポートを隣接。コントロールタワーと一体化し、迅速な対応を可能とします。

④チームオフィス新設

パドックエリアにチームオフィスを新築します。各々約40㎡の広さを持つ39室で、間仕切りを可動式にし、3ルームを1部屋(120㎡)とする利用も可能となります。既存のチームオフィスを14部屋残し、最大53室と大幅に増加します(現状42室)。チームオフィスとピットとの間隔を30m取り、トランスポーターの駐車や選手とファン、関係者の交流エリアなど幅広い目的で活用いただけます。

⑤センターハウス新設

パドック中心部に2階建て、延べ床面積2,414㎡のセンターハウスを新たに建設します。1Fはパドックカフェ(仮称)で、サーキットの雰囲気と臨場感の中、お食事をお楽しみいただけます。ベビールーム(授乳室)を店内に設置し、客席数は200席(全席禁煙)で、100名様規模の貸し切りパーティもお受けできます。テラスエリアには喫煙可能な20席を準備する予定です。2Fはホスピタリティエリアにつながるエントランスホール(360㎡)となる、パーティやイベントにご活用いただける多目的スペースとします。

⑥ピットビル2F、3Fにホスピタリティエリア設置

新設のピットビル2Fに食事をしながら優雅にレース観戦いただけるホスピタリティルームを11室設置、さらにピットレーンに張り出した屋外テラス席を、各部屋に100席ずつ設置。優雅さだけでなくモータースポーツの生の迫力をご堪能いただけます。また室内への車両の搬入も可能となり、新車発表会など多目的にご利用いただけます。

3Fにもホスピタリティブースを設置。自然光を活かし、開放的な空間とするため壁を設置せずに、コースが見渡せる場とします。また2F同様にテラス席を設置します。



ホスピタリティルーム

⑦メディアセンター設置

新設のピットビルに、メインストリートに面した明るいメディアセンターを設置します。スペースは従来のメディアセンターの約1.3倍の広さ(770㎡)となり、100V; 200V; 電話; LANアウトレットを完備したワーキングデスクを400名分設置。また情報交換の場としてレストルームを新設します。

⑧SMSCオフィス新設

鈴鹿サーキットの走行をお楽しみいただく皆様に、さらに快適にご利用いただくために、ゆったりとくつろげるスペース、ロビー、講習会等に使用する多目的ルームを有するSMSC(鈴鹿モータースポーツクラブ)オフィスを新設します。

⑨パドック拡張

パドック横の山田池を埋め立て、パドックスペースを従来の1.2倍に拡大します。これによりピット裏の駐車スペースは約100台分増設され、またパドック内での様々なイベントが開催可能となります。

改修計画③ レーシングコースの更なる安全性向上

①東コースランオフエリア拡幅 ②主要コーナーにサービスロード新設

世界基準にもとづく安全対策の充実をはかります。東コース第1コーナーイン側、逆バンクイン側、最終コーナーアウト側のランオフエリアを拡幅。第2コーナーアウト側はグラベル(砂利)と舗装部分とで構成し、コースアウトしたマシンのスピードを低下させるとともに、コントロール可能な状況を作り出します。さらに東コースの主要コーナーにサービスロードを設置。より安全に、かつスムーズな保安救急活動を可能にするとともに、メディアの皆様の移動・取材エリアを整備します。

※改修は計画中のため、数字につきましては変更になる場合があります。

改修計画一覧

改修計画① 観戦・イベントエリアの快適性向上

項目	内容
① グランドスタンド改修	V席増設。グランドスタンド全体で現状10,908席を12,830席に、約1,900席増加。 大型屋根の設置。 大型ビジョン、現状2基を3基に増設。 上段に個室タイプの観覧室35室(各10㎡)を設置 車椅子席を全59席に増設。
② パドックトンネル新設	新設し、通路幅を4mに拡幅。 エレベーター、エスカレーターを設置。
③ グランプリスクエア拡張	グランドスタンド手前のイベントスペース「グランプリスクエア」を拡張。
④ グランプリスクエア⇄第1コーナー 歩行者専用の通路新設	歩行者専用の橋を新設。
⑤ 各観戦エリアの環境・快適性向上	常設の軽食ショップを充実、トイレ施設を充実、分煙化を強化。
⑥ 駐車場増設	正面駐車場エリアに、約1,000台分の駐車スペース増設。

改修計画② パドック・ピットエリアの利便性・快適性向上

項目	内容
① ピットビル新設	全体で約100m延長。ピットボックス数48。 1ピットの面積を約86㎡から約109㎡に拡大。 ピットとパドック路面との段差を解消し、車両搬入の利便性を向上。 サインエリアとピットガレージ、チームオフィス間でLAN環境を構築。 ピットに個室(40㎡)12室を設置。 パドックにシャワールーム(2箇所)を設置。 広告スペースを拡大。
② コントロールタワー新設	約2倍に拡大。最新機器、監視システムを導入。
③ メディカルセンター新設	コントロールタワーと一体化。ヘリポートを隣接。最新の医療機器を導入。
④ チームオフィス新設	約40㎡の広さを持つ39室を新設。既存のチームオフィスを14室残し、最大53室に増加。 チームオフィスとピットとの間隔を30m取り、トランスポーターの駐車や交流エリアとして利用が可能。
⑤ センターハウス新設	2階建て、延べ床面積2,414㎡のセンターハウスを新築。1Fはパドックカフェ(仮称)、2Fはホスピタリティエリアにつながるエントランスホール。
⑥ ピットビル2F、3Fに ホスピタリティエリア設置	ピットビル2Fにホスピタリティルーム(11室)、3Fにホスピタリティブースを設置。 2F・3Fともピットレーンに張り出した屋外テラス席を設置。
⑦ メディアセンター設置	ピットビルにメディアセンターを設置。現状の約1.3倍の広さ(770㎡)。 400名分のワークデスクを設置。
⑧ SMSCオフィス新設	ゆったりとくつろげるスペース、ロビー、講習会等に使用可能な多目的ルームを設置。
⑨ パドック拡張	パドックスペースを従来の1.2倍に拡張。ピット裏の駐車スペースは約100台分増設。

改修計画③ レーシングコースの更なる安全性向上

項目	内容
① 東コースランオフエリア拡幅	東コース第1コーナーイン側、逆バンクイン側、最終コーナーアウト側のランオフエリアを拡幅。 第2コーナーアウト側のランオフエリアをグラベル(砂利)と舗装とで構成。
② 主要コーナーにサービス ロード新設	東コース主要コーナーにサービスロードを設置。

※改修は計画中的のため、変更になる場合があります。

工事スケジュール、環境への取組み

パドック内の山田池の埋め立て工事を含むパドック改修の準備工事はすでに2007年11月から開始し、2008年5月末に完了予定です。ピットビル新設、グランドスタンド増設、コース安全性向上などの、東コースエリア集中工事は2008年9月から2009年3月末にかけて実施いたします。また、鈴鹿サーキットはこれまでも絶え間ない改修工事を実施しており、2009年9月末以降には、西コースエリアの改修工事を予定しております。

また、地球環境に配慮し、建築工事に際しては「ゼロエミッション」をテーマに取組みます。さらに新たな環境の取組みとしてパドック内トイレの電源に「ホンダソルテック製」ソーラーパネルを設置予定。また、自然採光を多く取り入れるとともに、室内照明にはエコ製品など、省エネに積極的に対応して行きます。

2009年F1観戦チケット発売について

2008年11月上旬に2009年F1日本グランプリのチケット発売日・発売方法など詳細を発表させていただく予定です。新たな設備を最大限活かした、より快適にお楽しみいただけるF1日本グランプリのチケット発売にご期待ください。